

哈爾濱通信

社會會中の國民議會各派の議員
したるに、以上主として朝野に
は、各派の議員がなされる通例
に即ち。

▲衆議院に上して、議員の
もなる閣内、ワロフ、ズは、その中
本より、氏は、他より、毎日、日曜
議員も、朝へなり、長く、日下、有
議員も、如く、言ふ、は、不可、議立
の、事、は、く、正、議、事、は、日本、人、は、良
までは、議員、を、使、ん、と、欲、せ、し、今、今
人は、朝、に、朝、議、を、手、に、入、れた、る、の、
大、の、提、携、し、た、る、所、だ、に、な、り、
大、の、提、携、し、た、る、所、だ、に、な、り、
大、の、提、携、し、た、る、所、だ、に、な、り、

東京電報の示す如く十一日よ

本銀行は、於て二厘方の利子引下げ、
行東京市内の五大銀行及び其の幾
ひも失へり。利子引下げと斷行し
至りたるは取りも直さず金融緊縮
に資金固定し預金の増殖したるに
ものためなるから銀行家は金融の固
計するたけに如く利子引下げに
行したるものであるに就いて本銀
に資金が餘まり居る程なれば今半
たり年島市場に影響する如きは皆
んもここ五六箇月経過する時は或
本邦利金の資金にして半島に入ら

府の半島保護に要する費用

前を考へては、未だ東洋に依
據し、一切の之れに對しては
内閣も亦全く思慮を加へ
經過したる事情なるに依
ての經費に満足せず此のの
國經營の進歩せざる
に基くものなりと思惟せら
る此の點に就て内閣と交渉
りて述べたりと左なきだに
對して兎角の辭解あるに伊
藤を以て政府及び議會に對
何なるものなりやの非難ある
の如きも今年は宇島保隆貴に關
する調査を行ひ行政監督の實を
等なりと

(矢野業務課長)

使局及其他の各局に於て實見せ
一般公衆の注意を喚起したき點
らず今其數點を掲ぐれば左の如
△未納郵便物多し 目出度新年

[illegible]

第十一席 昇

「何だ、高慢な輩だ云々」



は、切れさいといふれば好いのだ、刀に殺
められるのは却つて好いぢやねわか、
を馬鹿にしやあがつて、**眞宗**、**貞宗**が
いひ、**眞円**だから、娘の方で望んだの
に違つた日はは違つた、此家督を眞
娘の愛に任せては、此家督を眞
う云ふ師匠なら此方から暇を遣ら
う、五年も辛抱して是位にしたものを
宗如き野郎に先と越されて何でなめ
く此の鎌倉に居られやう、エー面倒
い、娘の方が師匠を敬愛するやう、
嫌な嫌な、誠にいふ家に居るものか、と
宗の家を報出して行方知れずに相成
た、正宗之れを認いて、正呼情けら
る、

年、は眞と書かなければならぬと、一
にきつて放けた、**貞宗**はメキ／＼と
違つて眞の**貞宗**を見違へるやうにな
れたから、愈々吉日と誤んで、**湯加減**を
知らざう云ふことになつた、そこで此
相州城の**湯加減**と云ふのは、**飯城**に
はして火に掛け、**湯加減**を好い工合
に焼いて、此の時には斯う云ふ工合
で此位、**秋は斯う**、**春の湯加減**は斯う、
は斯う、**秋は斯う**、冬は斯うと、手
加減と書か込むのでございますから、
勝手勝手いふ此の**湯加減**は眼に見な
ない所の方が却つて都合が分るもの
であるから、當日になる、仕事場を

此の時分から 鶴ヶ伊勢より連絡も
 あり、あれだけに出張のやうに成つたの
 も、誰の心底深に、師匠の眞見をも用ひ
 自己の志に事、慮くも遠慮などもな
 せしたる、彼奴は生物物には成るまい
 といふ困つたものだ」と嘆息をした。圓
 正は最近に圓くして男だから、圓左
 衛門は馬鹿な奴だ、彼奴に惹つて飛出
 した所が仕方がない、美女は侮つた
 んだから、俺がねえんが眞宗に惚いた
 時分に、俺が惹つてやらう、圓加減な
 んぞ俺が言ひ盡んでやる」と平氣で居
 る、さて正統は眞宗を獲手となし相州
 寺の圓加減を傳授するに、まだ三四

第一等 六四九〇五七
 第二等 六四九〇五七
 第三等 六四九〇五七
 第四等 六四九〇五七
 第五等 六四九〇五七
 第六等 六四九〇五七
 第七等 六四九〇五七
 第八等 六四九〇五七
 第九等 六四九〇五七
 第十等 六四九〇五七

但右六等基準番號前後に一萬番飛び六十八本 例令は一
 五七、五三〇 一七七、五三〇の如し

但右基準番號前後に二百番飛び三千三百七十七本 例令
 は三〇六、五六七 三〇六、一六七の如し

右の通り當籤致候也

尙右當籤以外の者は景品券一枚に付五厘切手一枚宛を引
 替可申候

引替期間 市八日ヨリ本月廿一 日限り
 引替場所 京城日本人商業會議所内

四十三 年 一月 七日

京城聯合繁榮會

(番二八一—貳萬)

やち志

一口十錢以上一圓未満は何
時にも御用として買物に何
品も至る様に便宜を設けし
め、更に便利と致す。

大槻商會賣部

流出品は家裁の時計を除き
限後と雖も充分保存し製切
と皆です。

高木商店	同 久保田商店	同 大森三又支店	同 本町四丁目 共商會	同 三共商會	同 藤久商店	同 仁川本町三丁目 渡邊商店	同 河野商店	同 三丁目 安商商店	同 仲町三丁目 鬼頭商店	同 本町四丁目 鈴木商店
------	---------	----------	-------------	--------	--------	----------------	--------	------------	--------------	--------------

官製煙草
 京仁組合員
 明治四十三年一月一日
 致候間倍舊の御引立奉願候
 弊店等は迄東亞煙草株式會社
 特約店として營業在候處今
 京仁組合なるものを組織し
 専ら計取の日本官製煙草を
 一定の價格を以て確實に販賣可
 致候間倍舊の御引立奉願候

東京下結賣此は東京城と弊店唯一の所のみ

際橋出の日目丁一町和大城京

藤井出張店

電話二百〇五番

本店電話二四八
支店電話二六六

韓半島に及ぼす影響

東京朝鮮問題同志會より京城日本
同志會に請者團
聞記者團に對し左の來狀ありたり
諸君各位益々御精勵爲邦家大慶此

た、不幸にして彼は病没せしたため其雄

委員推参の節は可然御應接被下度
め御依願申上置候敬具
明治四十三年一月七日
朝鮮問題調査會委員（いろは順）

する事は素よりハア

平三郎信次郎、堀谷恒太郎、望月太郎（以上常任委員）

井上龜六、太田秀次郎、近江谷榮
柏原文太郎、加瀬禧逸、中安信三
上杉喜太郎、上島長久、倉辻明義、
原惟郭、工藤鐵男、藤村靜郎、淺田

月上旬の貿易

團事件に就ては、統監府屬寺島利久
後所に日々出張して調査進行中な
る。岡氏の談によれば、今國の検査は定
格なるも、恰かも税金横領事件検査

雪機を用ひ来る二月上旬

其完結を期する能はず目下検査の性質は漸く結論の路を開きたるのみにて是より各論に入り最後の結論を爲すには猶二三週の日を要すべし而して検査の方針を必すしも犯罪事件を極くせず豫算は完全に執行せられたる

舟は十一日午前十時東京港
 灣在中便宜を興へられぬ

性度と異にせり其結果に非ざれば何
も明言する能はず又語り得るまで
行はし得らざるも要するに若し不正
の事實に遭遇せば一步も假借するな
き相當手段を執らん筈なり且つ又
法令を

南州に於ける韓米

月十一日まで、に中央金庫に引上たス
日鋼貨は三億八千五百九十一万四千
目二十九枚にして此價格八百四十
六千七百四十五圓二十七銭なり
引上たる分は十三億七千五百十七

同志會と諸者國

●全國土地調査着手

三、大谷誠夫を特派し貴國に在

●牛込食産所の成績
目下牛平郡に地籍的調査を實行し
るが地方人民の氣受け良好なりと

口能野、福田和五郎、河野廣中、
炭二、櫻井一久、櫻井熊太郎、二

八月	二八	一五二	下の
九月	二九九	二二七	下の
十月	一一二	二二七	下の
十一月	一一二	二二八	下の
十二月	一一二	二二八	下の

●民國事件と當局者

州、漳州、泉州、光州、晋州、咸
鏡城の七箇所なりしが本年度に於
て二箇所の種苗場を増設するもの
あり目下準備中なるが本年度豫算
二万八千圓を請求したるも削減の

一々査問を行ふものなれば一

内部に於ては昨十三日午後より閣
を始り澤田地方局長平渡書記官
方行政に關係ある日本人高等官を
し地方行政に關して同次官より説
るところありたるが同次官は昨
の如く其の結果を齎らして急々本

の法令に照らし一層綿密に調査

所管となり建築一萬圓を計上し、
爲めに兩三日の内官制の發布あり
意にて所長、技師一人、技手専任
書記専任一人を置く筈なりと云々

●韓銀の新築落成期

目下南大門通りに新築中の韓銀

現今舊實の市場に散布しつゝあ

●財産整理局の廢止
度支部臨時財產整理局に於ては、
掌の報價調査中なるが、多分本月
了する豫定にして、此事務終了す
る後、財産整理局の事業は終了するを以

より約四百六十圓の義捐金を募集

●道書記官と警部長

●内閣大臣の招宴 ●
●内閣大臣外

に出張所を設け廣く販賣する筈を

人は一掃せられたり此の一掃せ

には固々心得違ひのものなきに
の評判もあるべけれども、是れは

況も推して知るべし而して此の

襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
より
徳商店

醫學士北村一等軍醫正（呼吸器病及消化病擔任）
を名譽院長とし其他院長以下各科分擔
一般の診療に従事す
但し名譽院長出診は毎週日（丁日）午後二時
病室落成
入院隨意
貧民施療
石川高等法院附屬下校
今村印刷株式會社編輯部編輯
◎校正嚴密 ◎校訂便利
◎印刷鮮明 ◎裝束整然
◎校訂便宜 ◎校訂便利

替化病院
本町四丁目
電話二四四番

監府 監獄署 法規提要
監獄署
監獄署
監獄署

日韓印刷株式會社出版部
十二月一日
十二月一日
十二月一日

皮膚病梅毒淋病性病科
皮膚病梅毒淋病性病科
皮膚病梅毒淋病性病科
皮膚病梅毒淋病性病科

眼科專門
眼科專門
眼科專門
眼科專門

待春日
待春日
待春日
待春日

合
合
合
合

國內通運株式會社
仁川出張所
釜山出張所
龍山出張所

神戶實業株式會社
神戶實業株式會社
神戶實業株式會社
神戶實業株式會社

荒物世帯道具卸小賣
荒物世帯道具卸小賣
荒物世帯道具卸小賣
荒物世帯道具卸小賣

原金旅館
原金旅館
原金旅館
原金旅館

御待合 紅葉
御待合 紅葉
御待合 紅葉
御待合 紅葉

唐津石炭
唐津石炭
唐津石炭
唐津石炭

上等石炭各種
林田交換所
並に無煙炭販賣

營業擴張廣告
營業擴張廣告
營業擴張廣告
營業擴張廣告

大上商店
大上商店
大上商店
大上商店

平山牧場
平山牧場
平山牧場
平山牧場

唐津石炭
唐津石炭
唐津石炭
唐津石炭

近藤商店
近藤商店
近藤商店
近藤商店

銀行一般業務
銀行一般業務
銀行一般業務
銀行一般業務

資本金五百萬圓
資本金五百萬圓
資本金五百萬圓
資本金五百萬圓

日本郵船株式會社
日本郵船株式會社
日本郵船株式會社
日本郵船株式會社

回酒
回酒
回酒
回酒

唐津石炭
唐津石炭
唐津石炭
唐津石炭